



ヒノヒカリ・きぬむすめ 栽培ごよみ

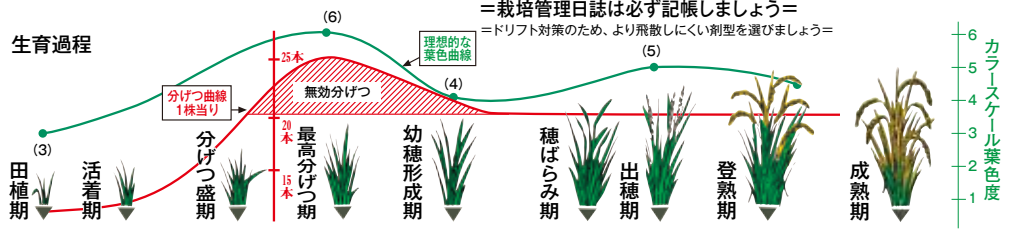
おいしいお米のつくりかたの要点

- ◎優良品種への統一と種子更新。
- ◎有機物・土づくり資材の施用。
- ◎薄播きと健苗の育成。
- ◎施肥の合理化と、水管理の適正。
- ◎適期防除による減農薬栽培。
- ◎適期収穫と乾燥・調製の適正化。

品種別出穂期・成熟期(目安)

品種名	幼穂形成期	出穂期	成熟期
ヒノヒカリ	8・2	8・27	10・9
きぬむすめ	7・28	8・21	9・30

遭うため注意しましょう
早期田植は出穂期が高温に



＝栽培管理日誌は必ず記載しましょう＝
＝ドリフト対策のため、より飛散しにくい剤型を選びましょう＝

中 生 種	11月～4月	5 月	ヒノヒカリ きぬむすめ	6 15	7 中頃	8 2 頃 7 28頃	8 27頃 8 21頃	10 9 頃 9 30頃
水管理								
土づくり	育苗箱の消毒 種子消毒 別記参照	播種 育苗管理 中苗田植前二五二八日 稚苗田植前三〇三五五日	除草 初期除草剤(除草剤の使い方参照) (施肥例参照)	追中除 干 肥し草	土用干し 土用干し	穂肥 肥	穂肥 肥	刈取 穀
主な作業と管理の要点(赤字は基幹防除)	育苗箱の消毒 種子消毒 別記参照	播種 育苗管理 中苗田植前二五二八日 稚苗田植前三〇三五五日	除草 初期除草剤(除草剤の使い方参照) (施肥例参照)	追中除 干 肥し草	土用干し 土用干し	穂肥 肥	穂肥 肥	刈取 穀
機械植栽培	育苗箱の消毒 種子消毒 別記参照	播種 育苗管理 中苗田植前二五二八日 稚苗田植前三〇三五五日	除草 初期除草剤(除草剤の使い方参照) (施肥例参照)	追中除 干 肥し草	土用干し 土用干し	穂肥 肥	穂肥 肥	刈取 穀

※薬剤散布前に農薬のラベルを熟読し、散布濃度、時期、回数に十分注意し、使用基準を守りましょう。

施肥例 10a当り(kg)

- この施肥例は、稚苗・中苗移植を基準にしているため、ポット成苗移植の場合は基肥は控え目に、穂肥は幾分早目に施用する。
- 側条施肥田植機を使用する場合は、基肥の量を20～30%程度減肥する。大豆、レンゲ跡地は基肥を控えめに施用する。
- 土壌条件、品種、栽培型、植付時期、生育状況、天候に応じて施肥時期、施肥量を調節する。
- 土づくりは毎年の実行で効果が高まるので、稲わらは焼却せず、土づくり資材とともに秋季にすき込みを励行する。

◎各施肥例に共通の土づくり資材 (いずれの施肥例にも下記の土づくり資材を前提とする)

土づくり資材	施用量	施用時期	備 考
堆肥(稲わら)	500kg	秋季	石灰窒素を20kg添加し、ミネラルG等の耕土培養資材とともに年内までにすき込む。
ミネラルG	200kg	秋季 荒起前	農閑期に早めに施用する。秋落田・排水不良田により。
又は とれ太郎	60kg 80kg	荒起前	品質向上のためのケイ酸補給に、少量散布が可能な資材。
アツミン	40kg	基肥	完熟堆肥約1,000kgの腐植酸に相当し地力増進と根の活力増進に役立つ。

1、省力施肥例

(1) 1回施肥①

中 生 種	肥料名	総量	全量基肥 施用	三 要 素		
				N	P	K
	JA 岡山西 中生用 R822	50	50	9.0	6.0	6.0
	(BM) 苦土重焼燐	10	10		3.5	
	けい酸加里プレミアム34	20	20			4.0
	計			9.0	9.5	10.0

1回施肥②

中 生 種	肥料名	総量	全量基肥 施用	三 要 素		
				N	P	K
	らくだ君中晩生用500	35	35	8.75	3.5	3.5
	(BM) 苦土重焼燐	10	10		3.5	
	けい酸加里プレミアム34	20	20			4.0
	計			8.75	7.0	7.5

(2) 2回施用

(有機質肥料栽培)

中 生 種	肥料名	総量	基肥	穂肥 8月上旬	三 要 素		
					N	P	K
	岡山西いちばん	85	50	35	10.2	5.1	5.95
	(BM) 苦土重焼燐	10	10			3.5	
	けい酸加里プレミアム34	20	20			4.0	
	計				10.2	8.6	9.95

(緩効性肥料栽培)

中 生 種	肥料名	総量	基肥	穂肥 8月上旬	三 要 素		
					N	P	K
	G0264	40	40		4.8	6.4	5.6
	F0X444	40		40	5.6	1.6	5.6
	(BM) 苦土重焼燐	10	10			3.5	
	けい酸加里プレミアム34	20	20			4.0	
	計				10.4	11.5	15.2

2、低コスト施肥例

中 生 種	肥料名	総量	基肥	追肥	穂肥		三 要 素		
					1回目	2回目	N	P	K
	晴れの国おかやま444	80	30	10	20	20	11.2	11.2	11.2
	計						11.2	11.2	11.2

※砂質田等では必要に応じて基肥にけい酸加里プレミアム34を20kg/10a施用する。

